

やまがら

2019年
夏号
No.35

松山市議会議員
梶原ときよし



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

参議院選挙愛媛選挙区

野党統一候補 永江さん圧勝!!

全国では改憲勢力3分の2を割る (自公政権の暮らし、消費税、年金不安に喝！)

…… 梶原 時義

	愛媛選挙区	松山市
ながえ 孝子	335,425 票	120,571 票
らくさぶろう	248,616 票	81,597 票
票差	86,809 票	38,995 票

松山市におきましても、12万571人ものみな様に投票をいただきました。ご支援に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございます。

7月21日に投票された第25回参議院選挙愛媛選挙区では、私たちが全力で応援した野党統一候補の永江孝子さんが33万5425票を獲得。自民の新人候補に8万6809票の大差で完勝し、愛媛選挙区では初の女性候補当選を果たしました。



当選後、感謝と決意を述べる 永江孝子さん

どう見ても、安倍政権の年金制度放棄と国民への自己責任転嫁宣言ではないでしょうか。せめて減らない年金、最低補償年金と物価スライド制を求めて、「3600万円貯めるよりも、政権交代」で安心年金制度に近づけたいものです。



午後8時：日本一早い当確報道に大歓声が上がりました。

全国では今回も32の1人区で、市民と野党5党（立憲民主・国民民主・共産・社民・新社会）などが「戦争法を廃止して、平和と立憲主義を守る」という基本的立場に立って、年金2千万円問題・消費税の引き上げ反対や廃止など、反安倍政治の共通な立場で候補者を一本化し共闘を進めた結果、10勝22敗に終わったとはいえ、改選勢力3分の2を阻止するなど多くの成果を勝ち取りました。

自公政権が、子どもの6人に1人が貧困・高齢者の5人に1人が貧困、更にはひとり親家庭の割合が貧困という、国民の格差と貧困を拡大させる中、定年後2千万円以上なければ平均的な暮らしができないという、今の年金制度が明らかとなり、安倍政権のいう「百年安心の年金」の大嘘が暴露されたかたちになりました。

しかしながら年金問題は、高齢者の問題というよりも若い人たちの方が大問題です。

安倍政権が作った「物価の上昇よりも年金支給を抑える」という「マクロ経済スライド制」という年金制度が悪の元凶です。

今、年金開始の人は2000万円不足するが、現在41歳以下の人が年金受給するときは3600万円も不足する事になります！

あなたは65歳時に3600万円キープできますか？

辺野古新基地建設のをめぐって、 沖縄県と「対話」のテーブルに着くことを 国に要請する意見書の提出を求める請願について。

賛成討論 ネットワーク市民の会 梶原ときよし

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。私は、辺野古新基地建設をめぐって沖縄県と「対話」のテーブルに着くことを国に要請する意見書の提出を求める請願について、賛成の討論を行います。先ほどの、市民福祉委員長報告質疑でも申し上げましたが、本請願はあくまで新基地建設の賛否を問うものではなく、地方自治の民意を尊重する立場から、政府に対し、沖縄県と県民が納得できる対話の場を設定するように促すものでしかなく、地方自治運営の骨幹にかかわる問題であると同時に、万が一にも本市議会が本請願を否決するようなことがあれば、沖縄県民の民意を無視した辺野古新基地建設を強行する政府の暴走を追認することとなり、絶対に許されません。

沖縄のアメリカ軍新基地建設問題は、遠い沖縄県の問題ではなく、松山市を含め自分たちの課題として日本全体で考えなければならぬ問題です。

市民福祉委員会が出た、以下「アメリカ軍の辺野古新基地建設の賛否についての結論を、松山という、沖縄と離れた自治体で出すことには違和感がある」とのたまたま不見識な発言をする議員をかかえる本市議会の議員に対し、私は問いたい。

仮に政府が、本市の中心にある堀之内公園に米軍基地を作るとしたら、あなたたちは賛成するのか。本市市民の7割がそれに反対をしても、あなたたちは国に対話も求めないのか。松山港の埋め立てを強行して問答無用で新基地を作られても、政府と話し合ってもせざるべきなのか？

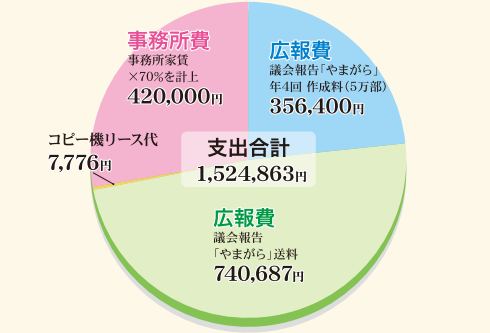
本請願で問われているのは、沖縄県民の苦しみ、他人事と考えるのではなく、自分たちのこととして捉える気持ちがあるのか？無いのか？ということではないでしょうか。

日米安保条約の下とはいえ日本全国どこにでもアメリカ軍基地が市民・県民の民意に関係なく強行されるといふことは、あってはなりません。

国民主権と地方自治を尊重する立場から、まさに今、新基地建設が強行されている沖縄県の県民と

梶原 時義の 2018年度 政務活動費支出報告

(2018年4月～2019年3月まで)



収入合計 1,524,863円

政務活動費 1,224,001円
議員報酬より 300,862円

政務活動支出報告について
2018年度の政務活動費につきまして、松山市議会政務活動費ご交付に関する規則第6条に基づき上記の通り市長に報告を行いました。

※結局、反対討論はなく、表決の結果、自民公明みらい（1人を除く）等の反対で「対話」への請願が否決されました。（賛成10、反対32）

市民の請願に対し、反対理由も明らかにせず、反対討論もしない（起立するだけで何もしない）議員が多数占めることに大きな憤りを感じます。

日本政府、そしてアメリカ政府を含め話し合いのテーブルに着くことを求め、本請願に賛成を表明致します。また、「対話」に反対する議員の皆様には本市議員として、市民からの請願に対し、反対理由を明確にする義務があると考えます。

この場で明らかにしてください！

以上で、梶原時義の「対話」への賛成討論を終わります。ご清聴ありがとうございました。

HPでは梶原の活動予定や 全定例議会での質問登壇が 動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。
ご連絡ください。

ホーム
ページ

梶原ときよし 公式ホームページ

検索

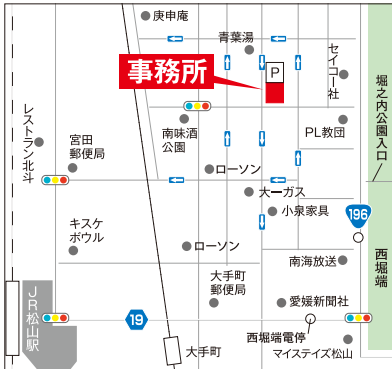
梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時～午後5時まで（月～木）
●金・土・日・祝日はお休みです。



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



官制談合か?! 談合情報どおりの業者・金額で落札! ありえない?! 引き継ぎ期間も設定せず 32年間連続でA社が落札!!

梶原ときよし

議会質問

2019年
6月18日

6月議会一般質問より抜粋

**事前の談合情報どおりで落札した
松山市総合コミュニティセンター電気機械設備等
運転業務委託入札はやり直すべきではないか。
本市の管理・監督責任を含め明らかにせよ。**

梶原議員

Q

2019年3月27日に行われた「松山市総合コミュニティセンター電気・機械設備等保守保全管理及び運転業務委託」の指名8社による競争入札において、その前日、3月26日に「談合」の告発があったとおりの内容で落札者が決定した。告発内容は「明日の入札は既に落札者がA社と決定しており、落札金額は2億9,580万円である」という談合情報だった。談合情報の信憑性を図る上で決定的な「落札金額と落札業者名」の正確な指摘は、告発者が実名か匿名かにかかわらず談合を疑うには十分な内容と言わざるを得ません。

① 本市指定管理先の松山市文化・スポーツ振興財団は、談合告発どおりの落札であったにもかかわらず「談合はなかった」として4月1日にA社と契約締結を行った。松山市談合情報対応マニュアルに準拠するべきであったと思うが、準拠していない

梶原議員

Q

コミセンの電気・機械設備等保守保全管理及び運転業務委託契約は年間で約1億円、3年で約3億円という超大型契約で、従業員18人がコミセンのプールや体育館、会議室など、5つの大型施設を24時間保守点検管理しなければならないという案件である。

① 業務遂行に当たり、国家資格を含め、どのような資格を要する技術者や管理者が何人必要になると考えているのか。

② 同契約はA社が1987年の「コミセン全館オープン以来32年間連続で受注しているが、仮にA社以外の会社が3月27日に落札し、28日決定通知送付、29日に決定受理というプロセスを踏んだとして(30・31日は土日)4月1日から、新しいメンバーでスタートすることは可能と考えるのか。



松山市総合コミュニティセンター



いことについて本市の見解を問う。
② 本談合情報は入札の前日にコミセン事務局と梶原時義事務所に寄せられたものであり、その内容からして、直ちに松山市公正入札調査委員会のような委員会を開き、審議するべきだったと思うが本市の見解を問う。
③ 談合情報対応マニュアルに沿うならば、入札執行前に競争入札参加者全員に対し事情聴取を行うこととなっているが、それをしなかったことに対して本市はどのように考えているのか。
④ 明らかに財団の責任逃れとしか思えない、入札指名8社からの誓約書の提出も、マニュアルを無視した談合正当化手段ではないかと思うが本市の見解を問う(マニュアルでは誓約書と工事費内訳書を提出させた後に入札執行を行うことになっている)。



③ 3月議会の予算成立を待つてから、始めるのではなく、普通は事前に債務負担承認を取って早めの入札を行うことで十分な引き継ぎ期間を確保して行うものと考えますが、どのように指導しているのか。

また、A社以外が受注することは、初めから想定されていないと疑われても仕方がない。

引き継ぎ期間が設定されていないような入札は、談合情報がなくとも、入札執行の中止をするべきではないかと考える。どちらにしても、今回の入札は無効としてやり直すべきと考えるが、本市の見解を問う。

総合政策部長

A

業務を実施する上では、電気工事士、危険物取扱者、ボイラー技士といった国家資格に加え、冷媒フロン類取扱技術者の資格が必要となります。

また、適切な管理運営のためには、所長や班長といった管理者のほか、中央制御管理員や設備保守整備員などの配置が必要であり、施設の規模や現在の状況を考慮すると、延べ18名程度必要であると考えています。

また、指名業者は、仕様書の内容など、応札条件を理解した上で、履行可能と判断し、入札に参加していると聞いています。

そのため、受託者が変更となった場合でも、切れ目なく施設の管理運営ができるものと認識しており、入札を無効にし、やり直す必要はないと考えています。

引き継ぎ設定もせず、コミセンオープン依頼32年間同じ業者が落札!!
官制談合でなければ不可能ではないか!

総合政策部長

A

市の対応マニュアルに準じて「調査するに値しない」情報と判断しました。そのため、入札執行前の事情聴取や誓約書泰志の提出を求めることなく、予定通りに入札を行ったとのこと。そして、開札後、一部が事前情報と同じ内容であったことから全指名業者に事情聴取を行ったが、談合の事実は確認されず、全指名業者から誓約書の提出を受けたうえで、落札者を決定したとの報告を受けています。

そうしたことから、今回の財団の連の対応は、市の対応マニュアルに準じた適切なものであったと認識しています。

落札業者と落札金額を正確に情報提供しているにもかかわらず、「談合情報」とせず意図的に無視している。

松山市定例市議会(年4回)に9年間、37議会連続登壇を続けています。

※2019年6月現在(連続登壇記録更新中)

2010年の松山市議会議員当選以来、全定例議会で質問あるいは討論を行ない、一問一答方式の導入をさせるなど、これまでのセレモニー化した議会に風穴を開け続けています



「一問一答方式」の導入で緊張感のある議会に



パネルを使って分かりやすい質問



答弁する市長

梶原議員(再質問)

Q

それでは引き継ぎはいつするのか?

総合政策部長

A

引き継ぎは業者に任せており決めてない。

官制談合を隠蔽するための答弁としか言いようがない!



梶原ときよし(ネットワーク市民の窓)

2019年6月議会では、一般質問の他、市民からの請願に対する委員会質疑と賛成の討論で3度登壇しました。

(その他の一般質問)

●改元を機に、本市の公文書と市民の届け出書類等は、簡単・明瞭・世界共通で計算しやすい西暦に変更してはどうか。

●本市の受動喫煙、ゼロへの対策と本市職員勤務中禁煙の徹底について